

令和 8 年度 第 1 回

認知症高齢者グループホーム無憂苑

運営推進会議報告

1.日程 令和 8 年 4 月 23 日(木)11 時～11 時 00 分

2.開催場所 無憂苑 B 棟事務所

3.参加者

地域包括支援センター長:野内武氏、東町町内会:近澤徹司氏
北町町内会:佐々木裕氏、利用者ご家族代表:堀野美也子氏
山川施設長、森谷(6名)

4.協議事項

(1)入居者の状況

4月に入って、職員の異動があり新体制となつてすぐ、4月3日に B 棟の方でお一人発熱が見られ、受診したところ風邪との診断で居室にて隔離対応をしていたところ、次々に同じような風邪症状が数人のお年寄りに見られ始め、B 棟は全部で5名の方が同じような風邪にかかってしまった。そのうちのお一人は肺炎との診断で入院となった。

A 棟のご利用者にも移ってしまい、A 棟も5名のご利用者が発症。うち2名が急に酸素濃度が下がり救急搬送、入院となり、今回の風邪で3名が入院されている。

更に、そんな最中に胆のうに胆石を持っているご利用者様が大量嘔吐により救急搬送、入院となり、一気に4名が入院ということになってしまった。このご利用者様は嘔吐による誤嚥性肺炎を引き起こし、更に胆石が原因で腸閉塞を起こしかけており、現在絶食状態で退院の目途もたっていない状況。

他の3名の入院者のうち1名は既に退院されており、あとの二人も元気になってきているとのお話があるため、近いうち退院ということになると思われる。

今回の感染症の反省点として

・インフルエンザやコロナでなかったために、隔離はしたものの、職員は防護服をきておらずに対応したため、それがどうだったのかというところ。発症前は職員もご家族も来苑する誰もが風邪症状は見られておらず、突然発症されたという状況だったため、どのように防げば良かったのか、どうしても手洗いやうがいなど一般的な対応になってしまう。

運営推進委員の皆様から

・確かにコロナやインフルでなかった場合はそこまで嚴重に対応していないところがほとんどであるため、今回の場合を考えた時にはなかなか防ぐのは難しいのではないかとのお話ではあった。また、現在は法人全体での感染症の研修などはしっかり行っているため、やれることはきちっとやっているというように見える

ため、それでも防げなかったことを責めることはできないなど温かいお言葉もいただく。

また、運営推進委員の方の中で、朝起きた時にかならずうがいを何度もするという習慣をつけるとあまり風邪をひかなくなったというお話があったことから、出来る方にはうがいの励行も良いのではないかとのお話があった。

(2)令和8年度の運営計画

・事業計画

今年度の事業計画のプリントを配布し、簡単に説明させていただく。

・行事予定

行事はご利用者の QOL を高めるためにも毎月実施していく予定。それ以外におやつ作りをするなど日常的に様々な活動を入れていきたいと考えている。

近澤氏より

→東町町内会の会長をしているが町内の焼台があるため、利用していただいても良いとのお話をいただく。ボランティアについて聞くと、日程が合えばボランティアも可能とのこと。他の推進委員さんも「お手伝いにきますよ」とおっしゃってくださる。

・加算の取得

現在少しずつ加算は取れてきているが、人事異動の関係で加算が取れなくなったものもあるため、今年度は現在いる職員に研修を受けていただき、研修が終了した時点で再度加算取得を考えているものがある。

(3)次回運営推進会議について

6月18日(木)11 時

6.その他

なし